

国有林野所在市町村の魅力紹介

青森県北津軽郡中泊町

津軽森林管理署金木支署

中泊町は、津軽半島の中央部を走る津軽山地の西側に位置し、旧中里町と旧小泊村が平成17年に合併して誕生した町です。中里地域の平野部は稲作を中心とする農業が盛んで、小泊地域は平野部が少なく西側は日本海に面しているため、漁業が盛んな町です。

小泊から竜飛岬をつないでいる国道339号線、通称竜泊ライン沿いには高さ21mの滝があり、7段の岩肌を流れていることから七ツ滝と名づけられたとされています。夏は青い空をバックにキラキラ輝く水しぶきと共に記念写真を撮影するスポットとなっています。



七ツ滝

中泊町の南に位置する五所川原市の津軽五所川原駅から中泊町の中心部までを結ぶ津軽中里駅までは津軽鉄道が走っており、町民には欠かせない存在となっています。夏は涼しげな音色を響かせながら走る「風鈴列車」、初秋は秋の訪れを告げる「鈴虫列車」、冬は車内の暖房も兼ねた「ストーブ列車」で一面銀世界の中をゆっくり進み、



四季折々の風情が楽しめる津軽鉄道

のんびりした旅を味わうことができます。

小泊沖で獲れる高級魚「津軽海峡メバル」を使った中泊メバルの刺身と煮付け膳（愛称：中泊メバル膳）は、メバルの刺身姿盛り、煮付け、潮汁、イカソーメン、ご飯も含め地元の食材にこだわったご当地グルメです。現在8周年を迎え、100,000食を達成した今も愛され続けています。



中泊メバルの刺身と煮付け膳

また、令和3年には地元産トマトを使用したトマト海鮮ラーメン（愛称：トマ鮮ラーメン）がデビューし、トッピング食材も地元産を使用したイカ天かまぼこ、メバルソーセージなど他では味わえない一杯となっています。お土産品も充実しており、メバルの缶詰シリーズ、メバルのアヒージョ「メバージョ」、メバルのシチュー「メバチュー」、メバルのアクアパッツァ「メバツァ」、メバルの粉末入り海鮮おかきなど豊富に揃っています。

一度メバルづくしの旅に訪れてはいかがでしょうか。



地元産トマトを使用したトマト海鮮ラーメン

お問合せ先：中泊町水産商工観光課 Tel：0173-57-2111